

# 清友

No. 191

2025年7月

2025年7月4日発行

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ5F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541



キタヨツバシオガマ  
(早池峰山にて)

## 第27回参議院議員選挙に向けて

### 東京清掃労働組合中央執行委員長

多田修一郎

退職者会のみなさん、日頃より東京清掃へのご理解・ご協力に感謝申し上げます。

さて、7月投票を迎える第27回参議院選挙に向けて、東京清掃としては、自治労組織内の「岸まきこ」さんを比例代表候補として推薦決定し、組織全体で取り組んでいます。

### 東京清掃は、自治労組織内議員と連携した運動を進めています。

これまで、東京清掃として、自治労組織内議員とともに、諸課題に対応してきました。

労働者供給事業の労働者に対する三保（健康保険・社会保険・雇用保険）を適用に導いたのは、当時の相原久美子参議院議員でしたし、東京都政課が発出した「総務省指摘事項」では、「清掃など採用が増えているが」と、清掃の採用に圧力をかけるような物言いに対し、江崎たかし参議院議員とともに



5月23日開催の東京清掃新多入組員歓迎会で挨拶する多田委員長（東京清掃提供）

総務省、東京都を問いただしてきました。

さらに近年、定年延長に係る国会審議の場で多くの付帯決議を付けたり、災害廃棄物の処理について、直営の清掃職員の重要性を指摘する質問を行ったのが、岸まきこ参議院議員です。

また、この間、様々な減税の話が持ち上がっています。実質賃金が低下し続ける中で、減税は国民受けの良い話ではあります。しかし、私たち自治体職員としては、その原資が問題になります。減税した結果が、歳出抑制などにより巡り巡って自治体サービスの低下につながってしまうようでは問題です。こ

うしたことについても、いち早く問題を提起できるのは、自治体出身の組織内議員だからこそなのだろうと思います。

### 退職者会の制度政策要求や政府要請の実現に寄与

あわせて、自治労組織内議員は、退職者会の皆さんとも密接な関りがあります。地方公務員退職者協議会が国に対する予算要望をあげる際に、地公退からの要請や、窓口になっているのが自治労組織内議員です。

そして何よりも、私たちは世界が右傾化する中で「平和」「人権」を守り、誰もが安心して暮らせる世の中を創っていかねばなりません。

### 私たちの声を国会へ

自治体職員のために活動を続ける、自治労組織内議員については、自治労組合員とそのOB・OGである皆さんがすべてといっても過言ではありません。私たちの声を国会に届けるため、共に頑張りましょう。

# 第17回定期総会



**会員拡大を実現しよう！  
親睦行事を充実させよう！  
社会的課題に参加しよう！**

**新幹事に坂本浩明さん**

名前と、狭山事件の石川一雄さんも亡くなったことを紹介した上で、「石川さんの遺志を継ぎ、第4次再審闘争の取組みを強化したい。年金制度改正はあつけないで済んだが、理解は不十分。訪問介護の報酬引下げ、事業者の倒産も続いている。医療費自己負担増や社会保障レベルの引下げは、生活のための政治ではなく、高齢者には厳しい。ウクライナ侵略やガザ虐殺も他人事ではない。日本の軍備拡大は危険だ。退職者会の役割りとして、高齢者の孤立化を防ぐことも重要だ」と、力説しました。

### 新採の継続的な獲得実現を！ 先輩が築いた成果発展が使命

来賓挨拶で、渡辺一彦東京清掃副委員長は、「日頃より、退職者会の奮闘に感謝申し上げます。今、政治闘争の重要性を特に感じている。自治労組織内候補『岸まき』議員は6年前15万票で初当選したが、『自治労は力なくなったよね』と言っている官僚がいたとのこと。7月の参議院選挙では、その様なことを言われないよう、取組みの強化が必要だ。今年、113名の新採採用があり仲間が増えた。

### 自治退都本部、都庁退連合、岸まき、後援会が来賓挨拶

楠田正治全日本自治体退職者会東京都本部会長は、「清掃退の機関紙『清友』はよく読んでいます。どこの単会も会員が減っている。かつての100万自治労は70万を切った。非正規雇用が増えており、正規化の取組みが重要だ。平和は大事だ。平和なくして、生活はよくならない。



で、昨年物故された古口寿一さん、戸張壽雄さん、神岡守さんのお

第17回定期総会を、6月13日に清掃会館で開催しました。会員の参加は27名、委任状提出55名。佐藤副会長の司会で開会。昨年総会以降亡くなった物故者を悼み、黙祷を捧げました。総会議長に吉田雅明さんを選出。総会議長挨拶で吉田さんは「昨日のインドの航空機事故は

街中ど真ん中。東京でも5年前から都心上空を旅客機が飛んでおり、市街地近くに空港をつくらないという時代の流れに逆行している」と批判し、取組みの必要性を訴えました。

### 狭山再審闘争勝利！社会保 障充実、反戦平和の取組みを 岡澤徹会長は、挨拶の冒頭

今後、継続した新採の獲得を目指していきたい。新入組員歓迎学習会で山口青年部長は、「今ある当たり前は当たり前ではない。休憩室の長椅子も、時間内の洗身時間も、作業内容も、長い間に先輩たちが勝ち取ってきたものだ」と話していた。先輩方が勝ち取ってきたことを、継続しさらに発展させていきたいと考えている。今後も引き続き、退職者会からの叱咤激励を、お願いしたい」と発言しました。初めての公的発言とのことでしたが、誠実な人柄がよくわかる好ましい内容でした。

▼3面へ続く



今後、継続した新採の獲得を目指していきたい。新入組員歓迎



頑張つていこう」と。

鈴木利明東京都庁職員退職者連合会事務局次長は「どこも会員が減っている、清掃は年々増やしており、敬意を表する。機関紙『清友』はいつも参考にしている。反戦平和の取組み、生活防衛の取組みが重要。都庁退年金学習会、親睦バスハイクへ積極的に参加いただきたい」。

軍司輝雄岸

まさきこ後援会幹事は、国会情勢や防衛費

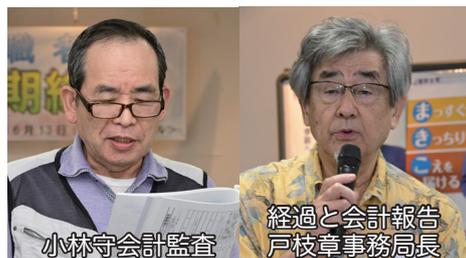


突出の予算などに触れて、自民党政治を批判し、「岸まさきは6年間、年金・社会保障、公務員制度、平和の闘いで頑張ってきた」と報告。7月20日投票が有力視される参院選への取組み強化を訴えました。

**報告と議案を拍手で承認**

**退職者会強化へ決意固める**

戸枝章事務局長が24年度経過報告と24年度会計決算報告、小林守会計監査が24年度会計監査報告を行い、特に意見もな

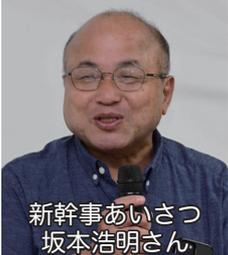


く、拍手承認されました。議案は3本。瀬瀬朗副会長が「25年度活動方針案」を提案。取組み課題として「①国際社会の安定、

②平和を求め戦争に反対、③人権を守り差別に反対、④環境を守る、⑤社会保障を守る、⑥政治を変える、⑦組織を拡大する」取組みを行うと、説明しました。

二つ目の議案「費用弁償制試行案」を戸枝章事務局長が提案。「会計事務簡素化のため、実費主義の旅費を、5段階の定額制行動費へ改める試行を行う」と、趣旨説明。三つ目の議案「25年度会計予算案」も、戸枝章事務局長兼会計が提案しました。

議案の質疑で古川孝彦さんから、「活動方針案は、トランプの暴挙を止め、平和を求め戦争



総会スローガンを吉田雅明総会議長が読み上げ、確認。議事は終

に反対する、トランプとプーチンに反対、ロシアの侵略とイスラエルのガザ虐殺反対を明確にしている。また、トランプに迎合し軍拡を進める石破政権反対を示している。活動方針は素晴らしい内容だ」との意見があり、瀬瀬朗副会長は、「意見をいただき感謝。これからも分かりやすい方針へ努力する」と答弁しました。議案は、拍手決定。

**坂本浩明さんが幹事に就任 期待を込めて会場万雷の拍手**

新会員の紹介に合わせ、役員補充の経過と新役員承認について、戸枝章事務局長が提案。新たな幹事、坂本浩明さんの就任を拍手承認しました。新しい幹事の誕生は、3年ぶりです。

新役員の挨拶で坂本浩明さんは「再任用終了により会員に加えていただき、この度、半強制的に？幹事にならせていただいた。よろしくお願い申し上げます」と発言。万雷の拍手に新幹事への期待が込められていました。

了し議長が退任。最後に、岡澤徹会長の音頭で団結ガンバロウを三唱、総会を終りました。

**やっぱり、我がが清掃会館での懇親会はいいですね**

引き続き、お楽しみみの懇親会。昨年に続き清掃会館で開催、会員25名、来賓2名、東京清掃常駐部3名の30名が参加。

瀬瀬朗副会長が司会進行。柳章元副会長の音頭でカンパイ。ワイワイ、話しは尽きることがなくエンドレス気味。あつという間に予定の時間。懇親会でも最後は「団結がんばろう」、フラフラしながらの三唱でした。



# 東京都庁職員退職者連合会学習会 年金と身近なものに

『東京都庁職員退職者連合会（都庁退）』の学習会「年金を身近なものに」が、6月23日、都庁職会議室で開催されました。

講師は、黒田隆文さん（労働退、元都庁退事務局長）。

黒田さんは冒頭で、「これまでの学習会と違い、専門的知識の報告ではなく、年金問題を考える契機になればという方向性に基づくもの。兎に角、年金は



難しい。とりわけ、言葉が難しい」と発言し講演に入りました。

## 年金制度のおさらい

### ◆年金の仕組み

日本の公的年金は二階建、1階が国民年金（基礎年金）、2階が厚生年金、3階に自助。

年金制度持続の4つの仕組み

- ①保険料・率の固定：厚生18.3%、国民1.7万円（04年基準）、②基礎年金給付の半分は国庫負担、③年金積立金は次世代の給付に活用、市場運用目標値は名目賃金上昇率+1.7%、④寿命の伸びなどに合わせて給付水準を自動調整（マクロ経済スライド）。

第1号被保険者（国民年金）の保険料は1.3兆円↓国庫負担を加え3.4兆円基礎年金勘定へ。

第2号被保険者（厚生年金）の保険料は40.4兆円。うち10.6兆円拠出、国庫負担を加え21.2兆円を基礎年金勘定へ。

### ◆基礎年金の年金額

- ▽25年度満額 69,308円
- ▽受給額平均 57,584円

### ◆厚生年金の年金額

▽モデル年金（片働き夫婦2人）

＝232,784円

▽実際の受給額平均 146,429円

（男女差約6万円）

### ◆年金の新たな示し方

完全片働き夫婦2人世帯は標準と言えず、「モデル年金」は「モデル」の意味をなさない。24財政検証では、単身世帯、夫婦世帯（共働き、短時間労働者含む、片働き）の現役時報酬額や男女差を反映したモデルが示された。また、経済成長、低成長型などの比較も検証。平均年金額の将来見通しが明らかにされた。若い層ほど、厚生年金加入期間が長くなるので、将来受け取る年金額が増える。

## 今年度の年金額

『年金額の改定スライドルール』の「物価・賃金とも上昇し



講師の黒田隆文さん

物価上昇率より賃金上昇率の方が低い」パターンが適用され、新規裁定者、既裁定者ともに、賃金上昇率に基づき改定。

- ▽物価2.7% VS 賃金2.3% ↓0.4%
- ▽マクロ経済スライド0.4%
- ▽改定率1.9%（物価に対し0.8%マイナス）

## 年金改定をめぐる動き

マスコミで「負担増」の報道が目立つ。3号から1号は負担増だが、適用拡大は3号から2号の話として、給付増になる。依然と続くトンデモ論。例えば、「年金受給開始を諸外国に見習い67歳にすべき」論。日本はマクロ経済スライドを入れて年金の調整をしているので、受給年齢上げは不要。

今回の年金改正の問題点は、①「基礎年金45年化」の提案見送り、②自民党が、企業規模適用拡大を大幅に遅らせ、既存個人事業所を任意加入のままとしたこと。経過措置中なので、次期改定での適用拡大は困難か。

### ◆今後の年金の姿

適用拡大は、将来の「所得代替率」に大きく寄与する。▼5面へ続く

【注】「所得代替率」とは、年金受給開始65歳時点の年金額が、その時点の男性現役世代の平均手取り収入と比較した割合の指標。政府は、将来にわたり50%を確保するとしている。

### ◆適用拡大と拠出延長の効果

- ▽企業規模要件撤廃+賃金要件撤廃(今回の改正)で2.3%増
- ▽5人未満事業所の適用拡大+労働時間要件を10時間5.9%増
- ▽基礎年金の拠出期間45年化(今回見送り)で6.9%増の効果

## 在老年金と保険料上限

### ◆在職老齢年金改正

賃金十年金 $\parallel$ 50万円以上は、オーバー金額の2分の1分の年金減額。今回、62万に改正。



「年金って難しいよなあ」と、講演を聞く清掃退参加者(纈纈さんは受付を担当)

在老308万人中、50万円以上50万人、改正で20万人が満額に。対象者の年金額は上がる分、将来世代の所得代替率は下がる。

### ◆報酬月額上限改正

保険料上限設定65万円を75万円に改正。保険料は上がるが、年金が増え、税所得控除も増えて早く元をとれる。その上、将来世代の所得代替率も上がる。

### ◆在老と報酬月額限改正の関係

- ▽在老年金改正に伴う所得代替率への影響 $\parallel$ マイナス0.2%
- ▽報酬月額上限改正に伴う所得代替率への影響 $\parallel$ プラス0.2%

## 基礎年金の底上げ

30年後に基礎年金の所得代替率が30%下がる。対応策としての「マクロ経済スライド調整期間の一致」とか、よくわからない。朝日新聞の担当記者も「段違いの難しさ」と言っている。

### 【補論】基礎年金と厚生年金は別勘定で運営。厚生年金の報酬

比例部分は賃金水準が減少すると自動的に将来世代の給付額は減るが、基礎年金は物価前提なので高止まりする。04年マクロ経済スライドを導入後、調整実施は物価上昇時のみとされ、賃

金水準低下等でも見送られたため、年金保険料の固定化に伴い、基礎年金財政が悪化、調整期間を長期化させることになった。

### ◆「底上げ」の内容

ネットなどで「厚生年金から国民年金にまわされる」という異論が続出。しかし、厚生年金積立金を、自営業など国民年金受給者にプレゼントするのではなく、厚生年金の報酬比例部分から、1階でもある「基礎年金」部分の底上げを図る措置。

### 【補論】これによる影響を極簡単に言うと、①現厚生年金受給者の年金額は目減りし、直近で厚生年金受給に至る予備軍世代の年金額も減る。②一方、国民年金加入者(自営業など)と、第3号被保険者(サラリーマンの妻)、将来の年金受給世代の年金額は、維持または好転する。

『退職者連合』は、6月16日に「年金制度改正法の成立に対する談話」を発表しました。自民党の対応を批判した上で、「①基礎年金底上げに伴うマクロ経済スライドの継続により、厚生年金の減額が継続す

現年金受給者層と年金予備軍は、04年の約束が反故にされ、数年間、年金額が減り続ける。

## 今国会の法案取扱い

適用拡大すれば、健康保険を含め国庫負担は減る。基礎年金の保険料拠出期間を5年間延長すれば、基礎年金の財政状況は好転する。ただし、国庫負担は増えるので、その財源をどうするかという将来課題は残るが、「基礎年金底上げ」ではなく、「適用拡大」を促進すべきだった。また、「基礎年金底上げ」は、29年財政検証結果を踏まえてとなつたことにより、次期年金改正で、「基礎年金45年化」の財政措置に踏み込めるかは不明。

立憲の対応は問題だったが、最大の悪は、適用拡大の経過措置延長と骨抜きにした与党だ。

## 退職者連合が見解を対馬方向骨子を発信

減額幅の圧縮措置を講じること、②適用拡大の加速化と「基礎年金拠出45年化」の実現、③第3号被保険者制度見直しの早急に検討開始を求めています。退職者会は、この考え方に則して対応することになります。

# 7・18 ボウリング交流会

## 東京ドームで闘権



「ボウリングより、ゲーム後の方が楽しみだ」という方もいるようですが、7月18日に予定しているボウリング交流会は、旅行会社などのツアーで言うところの「催行決定」の運びです。申込みはまだ可能です。ボウリングだけの参加もOKです。是非、ご家族、友人をお誘いのうえ、参加ください。

- 日時 7月18日(金)
- 集合 13時30分
- 東京ドームボウル(水道橋駅西口下車、黄色いビル)
- 1階エレベーター前集合
- 大雑把な行程
- 2ゲームを予定(1時間半位)
- ゲーム後、水道橋で交流会
- 会費 3000円
- ※貸靴(400円)は各自負担

# 秋の行事 9、11月に、毎月行事を計画

## 9月、学習交流会

9月の学習会は「終活」がテーマです。19年に、セレモアを講師に招き、葬式のことを含む全般的課題を学びましたが、今回は「遺産と相続」に絞り、労金と提携する専門家を招いてお話を聞くことにします。開催日は7月の幹事会で決めます。

## 10月、日帰りツアー

今年の日帰りツアーは「葛西臨海公園散策とバーベキュー」

## 11月、フィールドワーク

秋のフィールドワークは、黒工場見学プラスαです。工場見学後の観光場所を含めた実施案を近々決めます。



# 7月～9月の主な行事と行動予定

●戦争犠牲者追悼・平和を誓う集会

\*日時 7月10日(木) 10時30分

\*場所 清掃会館地下会議室

●ボウリング交流会

\*日時 7月18日(金) 13時30分集合

\*場所 東京ドームボウル

\*参加費 3千円

●7・19国会議員会館前行動

\*日時 7月19日(土) 14時00分

\*場所 衆院議員第二会館前

◆東京清掃人権啓発推進学習会

\*日時 7月26日(土) 17時45分

\*場所 清掃会館地下ホール

\*講演 再審法改正の課題

\*講師 川村建夫弁護士

▼平和フォーラム戦後80年企画

連続平和学習会(紹介)

\*日時 7月31日(木) 18時30分

\*場所 連合会館201会議室

\*テーマ 靖国問題から考察する戦争の記憶

\*講師 内田雅敏さん

\*日時 8月15日(金) 11時45分

\*場所 千鳥ヶ淵戦没者墓苑

●8・19国会議員会館前行動

\*日時 8月19日(火) 18時30分

\*場所 衆院議員第二会館前

\*場所 衆院議員第二会館前

●地公三単産・地公退高齢者集会

\*日時 9月17日(水) 13時30分

\*場所 日本教育会館

●全国高齢者集会

\*日時 9月18日(木) 13時00分

\*場所 文京シビックホール

●9・19国会議員会館前行動

\*日時 9月19日(金) 13時00分

\*場所 衆院議員第二会館前

●さようなら原発集会

\*日時 9月23日(火・休) 13時00分

\*場所 代々木公園B地区

●退職者会「学習交流会25秋」

\*日時 9月(日程検討中)

\*場所 清掃会館地下ホール

\*テーマ 相続・遺言セミナー

# 沖繩戦の悲劇から平和を考える

6月18日に、『平和フォーラム』主催の「戦後80年平和学習会」の2回目が開かれました。テーマは「沖繩戦の悲劇から平和を考える」、講師は名古屋学院大学教授飯島慈明さん。お話しの内容は、以下の通りです。

## なぜ「戦後0年」か？

沖繩では「戦後0年」と言われている。米兵の性犯罪は後を絶たず、12年〜20年で949件。空飛ぶ棺桶オスプレイの騒音で不眠が5割。墜落、重量物落下、炎上など軍用機の事故は後を絶たず、嘉手納基地騒音による睡

眠障害性心筋梗塞で10人死亡。沖繩は未だ戦後になっていない。東京も、横田ラフコンで航空自主権がない。「戦後0年」？

## 「沖繩戦」の現実

沖繩戦で島民の4人に1人が亡くなった。「自分の母親、弟妹を棒で殴り殺す」「爆弾を抱えて米戦車の下に飛び込むよう命令された」など悲惨な現実が証言されている。ひめゆり学徒隊は解散後、米軍に投降できず、戦場に放り出された。死者の86%が隊解散以降だった。

読売新聞「戦争責任」記事、「日



平和フォーラム挨拶  
梁裕之 共同代表

講師の飯島慈明さん

本軍によりスパイ狩りが行われ、『沖繩語で話し合う者はスパイ』とされた。「大本営『本土決戦教令』で降伏を禁止、『住民の殺害やむなし』と規定」「久米島で米兵に強要され投降呼びかけた住民20人が日本兵により虐殺」と報道。

石垣島などで日本軍の食糧確保とスパイ防止を目的にマラリア有病地帯へ退避させられ、罹病、3千人死亡した。「戦争マラリア」という。

『対馬丸』の悲劇。8万人疎開は、軍の食糧確保と、足手まといになる住民の排除だった。

## 昭和天皇と「沖繩」

45年2月14日、近衛は「勝てない」と上奏。昭和天皇が受入れていけば、東京大空襲、沖繩戦、広島・長崎はなかった。

47年9月、天皇は連合国最高司令官に「琉球諸島の占領は必要」と主張。憲法4条「国政に関する機能を有しない」に違反。

## 日本軍美化の危険な兆候

自民党西田発言。ひめゆり平和祈念資料館掲示の証言を否定。「ひめゆりは嘘つき」と言うのか。大田実海軍司令官「沖繩県民かく戦へり。後世特別の御高配を」の電文に、西田は「県民は立派に戦った」と。大田司令官の孫、聡さんは「自らの政治的発言の根拠付けに祖父の言葉引用は、県民、祖父を侮辱」電文の主は『特別の御高配』、か

く戦えり』ではない」と批判。参政党神谷は「多くの軍人は沖繩県民を守るため戦った」と発言。投降を禁止し、集団自決強要、軍命による戦争マラリアやスパイ視殺害など、日本軍が沖繩県民を守ったというのか。住民を犠牲にした沖繩戦を正当化する政治家、自衛隊幹部は同じことをする危険性がある。

## 日本国憲法の意義

「宣戦布告なしの満州侵略」展示（国連人権理事会資料室）をはじめ、オーストラリアやマレーシア、シンガポールの記念館等に「日本軍の蛮行」標示。権力者に戦争をさせないというのが日本国憲法。

## 米軍は日本を守らない

82年4月、ワインバーガー国防長官は「日本を守るために米軍が駐留しているわけではない」と発言。米軍が日本を守ってくれると考えるのは、「お花畑」流の楽観論。

戦争はいけないと市民に定着させることが戦争防止になる。沖繩戦の「現実」を正確に伝承していくことが必要だ。

# 参議院選挙勝利！政治を変えよう！

6月の総がかり行動は、通常国会の会期末を控えた19日に行われました。主催者や政党挨拶では、イスラエルのイラン攻撃とアメリカの軍事介入への批判とともに、選択的夫婦別姓や水俣病救済法案が継続審議になったことを踏まえ、「法案成立のために、参院選で勝利しよう」と訴えました。

## 日韓市民の連帯で、東アジアの平和を確立しよう！

韓国から来日した『韓日歴史正義平和行動』のキム・ヨンハ



さんが特別報告。ユン・ソンニョル政権を倒した闘いなどを報告し、「ユンの政策は日本の自民党と同じ金持ち優遇。東アジアの平和のため一緒に頑張ろう」と呼びかけました。

## 夫婦別姓も農業政策も 自民党政治が諸悪の根源

市民の報告では、『平和を求め軍拡を許さない女たちの会』の酒井かをりさんは、「選択的夫婦別姓法案は継続審議となった。絶対にあきらめない。改姓によりつらい思いをする人をなくそう。離婚するたびに子供の姓を変えなければならぬ。自民党はアイデンティティを理解すべき。別姓を認める議員を増やそう」と、『農民運動全国連合会』事務局長の藤原麻子さんは、『米つくって飯食えねえ』と、農民の怒りの声が渦巻いている。低米価と減反政策でコメ農家は激減、増産に対応できない。備蓄米放出の小泉劇場では解決しない。米政策を抜本的に変えろ」と訴えました。集会の最後に「自民党政治NO！」などとコールしました。

# オスプレイ反対！基地撤去！ 6・14米軍横田基地反対集会・デモ

6月14日、東京全労協主催の『米軍横田基地反対集会』が福生公園で行われました。

米軍横田基地は、世界のあらゆる地域に「緊急展開」する「空の殴り込み部隊」機能を有す第5空軍司令部が置かれ、空飛ぶ棺桶オスプレイを配備、日夜騒音をまき散らしています。また、日米軍事同盟強化による自衛隊との軍事共同化が進み、基地機能を一層強化しています。

## 横田基地はいらない！

集会では、横田基地に反対する各団体が「自衛隊の三軍統合体制下、横田基地は臨戦態勢化している」「事故を起したオスプレイが追加配備された。既に欠陥機オスプレイは製造されていない。政府の対応は許せない」「南西諸島の避難訓練は強制疎開だ。残された土地や作物の対応など、生活基盤に関する説明がない。戦前の補償なき受忍は生きている」「横田空域の問題は東京全体に関わる。小学校で子ども対象のJアラート防空

訓練など、軍事化が進んでいる」

と警鐘が鳴らされました。集会後、オスプレイ反対！基地撤去！等の声を上げ、横田基地前をデモ、基地正門前で自衛隊に、横田基地撤去と戦争態勢反対の申入れを行いました。



横田基地前で自衛隊へ申入れを行う小泉東京全労協議長



「令和のコメ騒動」とマスコミが報道してから1年近く経ちます。最近では、小泉劇場や、出荷業者等に対する儲け過ぎ批判もあり、コメ価格は多少下がっていますが、依然として高止まりし、家計を圧迫しています。特に低所得者層を直撃し、学校給食も苦難を強いられ、子どもの健康にも響いています。

### コメ高騰の原因は?

政府の減反政策実質的継続に伴う農業衰退が、コメ不足を招いたこと、それに乘じて商社などが群がり、価格を釣り上げたことにあるとされています。

減反政策は農水省と農協癒着による弊害であり、コメを儲けの機会ととらえる商社などが参入しやすくなったのは、竹中平蔵等による規制緩和です。まさに、自民党政治がコメ高騰をもたらしたのです。3月30日に行われた『令和の百姓一揆』で、「コメ不足は農村の衰退と農業従事者の減少が招いたものであり、稲作が『実質時給10円』では農業の継続は困難」と、窮状が訴えられていました。

### 農業政策の抜本変革申入れ

6月12日、『壊憲NO! 96条改憲反対連絡会議』は、首相官邸前で集会を行い、農水省に対し①減反政策中止、②農協解体、農家中心の共同組織創設、③食料自給率引上げ、④小中学校の学校給食、子ども食堂、生活困窮者・社会的弱者に米無料配布を求める申入れを行いました。農業従事者、市民と手を携えて、食の安全・安定確立へ向けた取組み強化が必要です。

## 6・26東京総行動

解雇、偽装清算、組合差別、団交拒否、不当労働行為などに抗して闘う争議団の共闘と連帯の一日行動『東京総行動』が6月26日に取り組まれ、退職者会は、トヨタとJAL本社抗議の行動に参加しました。

### トヨタはILO勧告に従え

日本を代表する企業トヨタとJALは、不法行為も代表的? トヨタはフィリピンの子会社で、労組を忌避して237名を不当解雇。ILOは「違法解雇を取消し、原職復帰か金銭解決」を求める是正勧告を6度も行っていますが、トヨタは無視、闘い

### JALは争議を解決しろ

労組潰しを狙った265名の不当解雇が強行されてから14年、JALは解雇後、パイロット7百人、客室乗務員7千5百人以上を新規採用。外国人パイロット70人以上採用の方針を出しているにも関わらず、被解雇者を受け入れようとしません。JALの職場では、パイロットの飲酒問題やトラブルが続



き、「おかしいことをおかしいと言えない状況がある」(鳥取社長発言)とされています。争議を解決しようとしないう体質が、もの言えぬ職場をもたらしています。被解雇者が納得できる解決を求め、しつこく追及します。

は24年目に入りました。「トヨタの巨額の利益は、労働者の犠牲によりもたらされている。フィリピン人民の血を吸いトヨタは繁栄している」との批判に、真摯に向き合う責任があります。

# 通常国会の議論の焦点と結果

6月24日、田町交通ビルで、自治体退職者会東京都本部学習会が開催されました。テーマは、「第172通常国会の議論の焦点と結果」でした。

楠田会長はいさつで、組織人員の危機的状況に触れ、現・退一一致で、各単会が現役と協議するよう呼びかけました。また、戦後80年・昭和100年を今一度振り返り、平和を語り継ぐ大切さ、いま一番危険な国はアメリカだと、指摘しました。

続いて、鬼木参議院議員の講演。「国政選挙の投票率は50%程度、安倍政権の12年以降下がりに続けており、議会制民主主義の危機だ。政治は信頼されていないが、いま国政に確実な変化が表れているとし、岸まきこさ

んや鬼木さんは、マイナカードの窓口での混乱を例に、「全国の現場課題で、生活や命を守るための活動ができる」と訴えました。また、「ガソリン暫定税率の廃止は審議するが採決はしない。与党議員は暫定税率廃止に反対していると知られたくない。自己保身だけで、国民の命・



暮らしを支える気はない。年金法は重要議案だったが、与党は国民不在の都合ばかりでまとまらず、与党の提案はひどいも

のだった」と報告しました。話しは、トランプ関税、学術

会議法や選択的夫婦別姓、能動的サイバー防衛、エネルギー政策等多方面に渡りましたが、最後に、「地域の交通・介護・保育・医療のような、公共サービスの

## 自治労東京政策実現総決起集会

自治労都本部は、6月28日、ワイム貸会議室荻窪で、政策実現総決起集会を開催しました。

都本部の松村委員長は、「公共サービスの予算減が地方を直撃している。まっとうに働く人、生活者を守るために、参院選を勝利しよう」と訴えました。

鬼木まこと参議院議員は、「ガソリン暫定税率廃止の廃案を例に、自民党は政権維持のために活動していて、国民生活は念頭にない」と批判し、石上自治労

人材の確保・育成・定着が危機的状況、上下水道や橋など公共インフラの老朽化対策は、自治体任せでは困難だ。国の関与が求められる」として、自治労組織内候補の存在の重要性を訴えました。(写真・文ともに岡澤徹)

委員長は、「国民民主は、自民から離れた右の勢力を取込み、夫婦別姓の意見を後退させ、外国人差別に便乗している。地方で働く人へのしわ寄せは許さない」と主張しました。

最後は、「エイトビートで：政策実現：作戦」と称し、全員立ち上がりビデオに合わせて踊りました。最初は戸惑いながらも、途中から掛け声も上がり、意外に？盛り上がりました。年寄りには疲れた。(岡澤徹記)

### 熱中症に注意!



帽子や日傘で日ざしをさえぎろう



のどがかわいてなくても



水分補給を!

汗をかいたら塩分を摂ろう



エアコン、扇風機を使おう



寝る前にも水分補給を!

